

公孫樹 (いちょう) 5月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

PTA全国協議会「三行詩」コンクール優秀作品

日本PTA全国協議会から、三行詩(短文)の募集案内がきました。過去の優秀作品を見ていたら、とても面白かったので紹介します。

【中学生の部】

授業参観 さがして 見つけて 目をそらす	「来ないでよ」言ってるわりには 母探す てれくさいけどありがたい 日曜参観
AKBやたら詳しいうちの父 なぜかと思えば、私と話がしたいらしい	ケンカして ゴメンの代わりに 皿洗い
テストで良い点取った時 母は「私の子じゃない!」と笑顔で言う テストで悪い点取った時 母は「私の子だ!」と笑顔で言う 言葉の意味はちがうけど 言葉の愛は同 じくらい	「勝ってこい!」 初めて言われた父の言葉 涙で帰った その夜に そっと言われた 「おつかれさん」
反抗期 楽しまないでよ お母さん 反抗する気 なくなるじゃん	母親に言いたいけれど言えないない いつかは言うぞ「ありがとう」

【一般(保護者)の部】

最終手段 チューするぞと 起こす朝	ついに この日が来た 息子のお下がり 俺が着る
「髪結って。」 鏡の前に娘と私。 気付かれないように背伸びする。	おい娘! 母さんへの言い訳で 「だってお父さんの子なんだもん」って 言うんじゃない!
今日もまた ガミガミ怒ってしまったと 反省してみる夜更け過ぎ 明日こそはと笑顔の練習	おこらない 毎朝ちかい 夜ざせつ
「うるさいなあ」「やってるし」反抗的な 言葉でも 親からの自立第一歩 大歓迎で受けてたつ	おはようと 息子が笑顔で言ってきた やっと終わった反抗期

いかがですか? 後ほど行田中学校でも生徒と保護者の皆様に作品を募集したいと思います。親子で話す良い機会です。家庭の日常風景をふるって応募してください。応募いただいた作品は、すべて日本PTA全国協議会へ送ります。また、学校独自でも表彰する予定です。

行田の主なお祭(まつり)

祭(まつり)とは、感謝や祈り、慰霊のために神仏や祖先を祀(まつ)る儀式です。祭はその昔「神遊び」とも言われました。神が天から降りてきて、神輿(みこし)に乗って人間世界で遊びます。遊びですから精一杯楽しませる必要があります。神を楽しませ、人間自身も楽しむのが、「神遊び」つまり祭りです。日本人にとっての祭りのキーワードは「春夏秋冬」です。春の訪れとともに種をまき、夏には台風や害虫、疫病などの被害にあわないことを願い、秋の実りに感謝を捧げ、寒さの厳しい冬にはこもりながら魂を充実させていく。日本には、季節の移り変わりに寄り添うように人々の営みがあり、日本人の季節感が祭りに凝縮されています。また、神話そのものをルーツにしたり、最近ではイベント的な祭りもあります。行田にも様々なお祭りがあります。その一端を紹介します。

なお、行田中では、佐間天神社八坂祭と浮き城まつりには「行中連」を組み参加しています。

まつり	時期・会場	主な内容
春まつり	毎年4月15日 産業文化会館前	明治初期に始まる。徳川家康の命日に行われ、過去は春野菜や春の苗木などを扱う露店が軒を連ねた。
さきたま 火祭り	毎年5月4日 さきたま古墳公園	海幸彦と山幸彦の神話をもとにした古代ロマンあふれる火祭り。日が沈む頃には、古代衣装を身にまとった「ニニギノミコト」と「コノハナサクヤヒメ」の行列が現れ、神話の世界に誘う。 
蓮まつり	7月初・中旬 古代蓮の里	蓮茶の試飲会や蓮もちつき大会、写真コンテストなど様々なイベントで盛り上がる。
佐間天神社 八坂祭	7月中旬 (7月15日) 佐間天神社 佐間通り	佐間地区の鎮守・佐間天神社の祭礼。佐間と旭町の屋台の曳(ひ)き廻しが行われる。複数の神輿(みこし)や、ヨサコイソーランの団体等も参加。本校も「行中連」と「行中神輿」で参加しています。 
浮き城まつり	7月の最終 土・日曜日 (7月28・29日) 行田市内	行田市民祭。見どころは「そーれ!」のかけ声とともに踊り、行進するだんべ踊りパレード。勇壮な神輿と本町・旭町・新町・下町・佐間・元内連合の山車。クライマックスには6台の山車によるたたき合い。本校も「行中連」を組み参加しています。 
忍城時代 まつり	11月上旬 忍城址	江戸時代の忍藩にまつわる武将に扮した武者行列や、火縄銃を使った演舞などが披露される。
夢まつり	毎年11月23日 産業文化会館前	「食と農と環境」をテーマとしたお祭り。ステージイベントを始め、「ゼリーフライ大食い大会」などのイベントもある。
酉の市	毎年12月6日 愛宕神社周辺	商売繁盛や家が栄えることを願う祭り。愛宕神社周辺で行われる。神社境内には、縁起物の熊手を売る露店がたち並ぶ。